

(仮称)地域交流センター改築工事

総務課

子どもとランチスペースで親子交流。

談笑ができるコミュニケーションスペースがほしい。

カフェや特産品の販売ができるところがほしい。

バリアフリーに対応したスムーズな動線にしてほしい。

放課後も自習ができる待合せの場があったらいいな。

町民 子育て世代

子ども

障がい者

高齢者

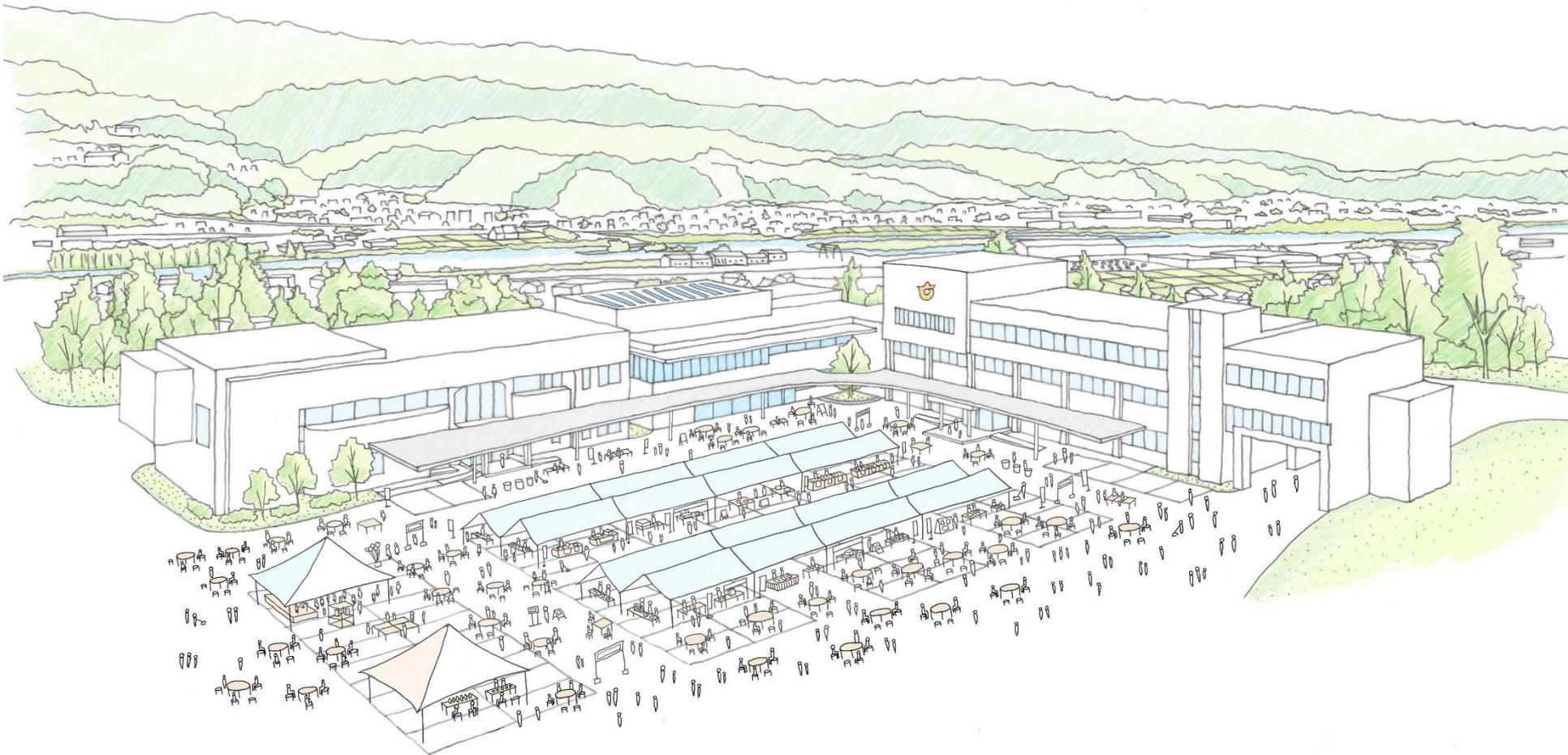
中学生



住民・施設利用者のさまざまな声

「連結型」から「多機能型」へ

高森町のコミュニケーションを複合化していく
「タウンセンター」としての施設計画



(仮称)地域交流センター改築工事の概要

◇施設概要

計画地:長野県下伊那郡高森町下市田2183-1

(現在の福祉センターと同位置)

規模:地上3階建て 鉄骨造

延床面積:1,626.85㎡

主な施設:

1階:多目的室(大ホール)、まちリビング、まちキッチン(調理室)、フレキシブルルーム(食堂休憩室)、高森マルシェ(ミニショップ、ミニカフェ)、キッズコーナー、ユニバーサルルーム(コワーキングスペース)、テラス

2階:大会議室、小会議室、学習ラウンジ(自習コーナー)、テラス

3階:屋上テラス、太陽光発電設備

屋外:キャノピー(ひさし)、非常用発電設備、地中熱空調設備

(仮称)地域交流センター改築工事の概要

◇事業期間(予定)

令和8年度～令和9年度の2箇年

◇想定スケジュール

現施設利用可能時期: 令和8年3月末まで

令和8年6月以降、準備工事を開始し、令和9年度末までに完成予定

◇想定事業費

既存施設解体・建築、地中熱空調設備、備品購入費、設計監理等
含め総額約16億円を見込む

令和8年度は約5億円の費用を見込む

国庫補助1/2(地中熱は2/3)、補助裏に地方債を見込む



中央公民館

地域交流センター

役場庁舎



交流センターを正面から見る



中央公民館と役場庁舎を繋ぐキャンピーを見る



学習ラウンジ

まちリビング

高森マルシェ

まちリビングから吹抜を見上げる



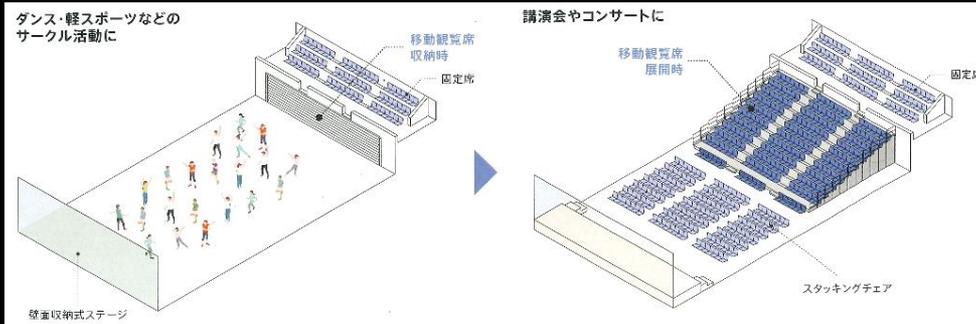
まちリビング

壁面収納ステージ

多目的室(ステージ側)



移動観客席



フレキシブルな活用例



壁面収納ステージ



キッズコーナー

フレキシブルルーム

まちキッチン

階段下を利用したキッズコーナー



キッズコーナー

フレキシブルルーム

まちキッチン

まちキッチンよりキッズコーナーを見る



ユニバーサルルーム

個室-3

個室-2

個室-1

ユニバーサルルームと個室ブース



天竜川テラス1F



学習ラウンジ

ギャラリー

学習ラウンジとギャラリーを見る



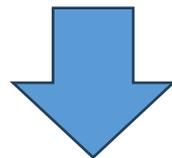
太陽光発電

南面鳥観図

地中熱を活用した空調設備とは？

◇仕組み

- ☆一般的な空調設備・・・屋外の空気を熱源にしている。
 - 夏・・・30度を超えるような暑い外気から温度を下げる
 - 冬・・・マイナスになるような冷たい外気から温度を上げる
- ★地中熱を活用した空調設備・・・地中の熱を熱源とする。
 - 地中熱が年間を通して一定の温度(15度前後)で安定している



一般的な空調設備で同じ温度の熱を作り出すより少ない電力で済み、その結果節電が可能になる。CO2削減効果もある。

地中熱を活用した空調設備とは？

◇削減効果（他施設の例）

★角藤中央事務所 比較資料（データ収録期間：2023年10月～2024年9月）

※実績データより



年間電気料金 -52%

241,134円

消費電力量 -52%

12,123.9kWh

CO₂排出量 -52%

5.3 t-CO₂

※推定データより



年間電気料金

498,230円

消費電力量

25,026.9kWh

CO₂排出量

10.9 t-CO₂

地中熱ヒートポンプ

空調㎡数：442㎡

二次側空調機器：FCU、輻射式冷暖房パネル

熱源容量：ポアホール75m×11本

30kWヒートポンプ×2台

空気熱ヒートポンプ

地中熱を活用した空調設備とは？

◇高森町での地中熱可能性調査結果(速報)

調査日：令和8年1月28日～2月3日

掘削深：約77m

調査結果：地中安定温度 15.5℃

有効熱伝導率 2.59W/(m・K)

※有効熱伝導率は一般的な数値より高めであり、
地中熱利用に適している。地中熱を利用した空調
を導入した場合に十分に活用できる との考察

◇利用予定箇所

- ・1階のエントランスホール、まちリビング、高森マルシェ、キッズコーナー廊下等共有部分
- ・2階の学習ラウンジ、廊下等共有部分